

西条市では、人権・同和教育地区別懇談会を毎年実施しています。

「同和、同和と言いつつ、知らない人も知ってくるのではないか」とか、「そつとしておけば、自然に差別はなくなるのではないか」等の「寝た子を起こすな」論を今でも懇談会などでよく耳にします。

寝た子は本当にいつまでも寝ているのでしょうか。

実際や結婚、土地の購入など何らかの利害関係が生じた時、寝た子はいつでも起き上がり、正しい知識や人権感覚を身に付けていなければ、差別者になるかもしれないのです。自分のなかに差別意識はないだろうかと、自問することも時には必要です。

人権・同和教育は、寝た子を起こし、差別者をなくする教育です。

「部落（被差別地区）を知らないから差別しないではなく、部落を知っても差別しない」という状況を、教育の力で創りだすことが、同和教育の真の解決につながるのです。

私たちは、同和教育について、どこで出会うかわかりません。

なぜなら、今も社会の中に厳然として部落差別が存在するからです。

そのような中で、何も知らないまま通り過ぎるというのは考えにくいことです。

「寝た子を起こすな」という考えには、自分は同和教育があることを知らなかったときは、差別意識などなかった。

しかし、知ったことにより差別意識を持つようになった。だからほかの人もそうなるに違いないという思い込みがあるのかもしれない。

人を出自で差別することはおかしい、部落差別は根拠のないもの、不当なものであるという出会いをした人は、決して「寝た子を起こすな」という意見には同調しないのではないのでしょうか。

もし、予断や偏見を持っていたとしても、人権・同和教育を通じて、正しいことを学ぶことで、差別意識を払拭することができるのです。

「部落を知っても差別しない」ということは、そういうことです。

懇談会等に一人でも多くの方が参加し、正しく学習することを切に願っています。

## 旧西条藩陣屋北御門が寄贈されました

平成25年11月19日、西条高等学校から市に北御門が寄贈されました。

北御門は西条藩陣屋の北口に設置されていたものですが、明治以降所在を転々とし、傷みがひどくなっていたのを市民有志でつくられた修復事業推進委員会の尽力で西条郷土博物館前に移転・修復されたものです。西条藩の歴史を伝える建造物であり、郷土の貴重な文化遺産として活用させていただきます。



寄贈された北御門



落成記念式典

ありがとうございます  
ございました

次の方々からまごころ銀行へご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。  
(順不同 敬称略)

### ■個人

○柳瀬英子（壬生川）

○青野和正（楠）

### ■各種団体

○玉津小学校昭和40年度卒業生

○カラオケ喫茶寿 //

○国際ソロプチミストいしづち

○庄内ふれあい文化祭実行委員会

○中川小学校

## 絵画が寄贈されました

平成25年11月22日、河野千年世さん（氷見）から、市に絵画が寄贈されました。

寄贈された絵画「瀬戸の海 暮色」は、総合文化会館1階ロビーに展示していますので、ぜひご覧ください。

